

# SDGs 動画プロジェクト

指導者 平 眞由美

1 年・組 第6学年2組 34名

## 2 単元の構想

### (1) 子どもの思いと教師の願い

5月、SDGsについて発信し、世界を笑顔にしたいという思いから「動画」を手段として活動に取り組むことになった。

子どもたちは、世界の課題を解決していきたいという願いを持っている。4年生からまちについて調べる学習に取り組み、5年生からはSDGsについて調べ、身の回りの課題が地球規模の問題につながっていることを知った。今年は、自分たちが調べたことを発信して、自分たちの住むまち、そして地球を守る行動につながるようにしたいと考えている。

情報の発信方法としては「動画」を選んだ。「動画」という形に表現する中で、情報活用能力を高めることも目指していきたい。SDGsの目標が自分たちの生活と深くかかわることに気付き、分かりやすく表現していくことを目指す。また、映像制作をする中で、ものを作るために知恵を出し合い協力したり、自分の思いを人に伝えるためによりよい表現の仕方を工夫したりする力を高めていきたい。

### (2) 学習材：ゲーム

学習対象	<p>The diagram consists of several boxes connected by dashed lines. At the top left is a box labeled 'SDGs'. To its right is a box labeled '映像制作に関わる人' (People involved in video production). Below these two boxes is a larger box labeled 'まちや人、自然を大切にしている人々の思い' (Thoughts of people who value their community and nature). Below this box is another box labeled '世界への働きかけ' (Call to action for the world). Dashed lines connect 'SDGs' to '映像制作に関わる人', '映像制作に関わる人' to 'まちや人、自然を大切にしている人々の思い', and 'まちや人、自然を大切にしている人々の思い' to '世界への働きかけ'. There is also a dashed line from 'SDGs' to '世界への働きかけ'.</p>
学習事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の課題に対して人々が関わり合い、工夫しながら暮らしているということ&lt;地域&gt;</li> <li>・映像には、人々を惹き付け楽しませる表現などの工夫があるということ&lt;表現&gt;</li> <li>・ものづくりはたくさんの人々が知恵を出し合い協力して行っているということ&lt;キャリア&gt;</li> </ul>

### (3) 単元目標

「世界を笑顔にしたい」という思いの実現に向けて、映像制作の仕事に関わる方に教わりながらSDGsについて広める動画を作る活動を通して、世界には人々が関わり合い、工夫しながら暮らしているということに気付き、自分の思いを人に伝えるためによりよい表現の仕方を工夫する力を高めるとともに一つのものを作るために知恵を出し合い協力する姿勢を育てる。

### (4) 単元で育てたい資質・能力

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画には、人々を惹き付け楽しませる表現などの工夫があるということを知る。</li> <li>・ものづくりにはたくさんの人々の思いが込められているということを理解する。</li> <li>・世界には人々が関わり合い、工夫しながら暮らしているということに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文献を調べたり、まちを調査したりして得た情報の中から、動画として取り上げる内容を選択する。</li> <li>・相手に合わせて動画の内容、映像制作の方法を考えながら、動画を作成する。</li> <li>・表現、編集などを工夫して動画を改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いの実現に向けて、自分にできることを考え、友達と協力しながら粘り強く追究する。</li> <li>・世界を見る視点を広げ、よりよい映像制作のために、積極的に活動しようとする。</li> <li>・進んで活動に取り組んだり、他者とコミュニケーションをとったりして学んだことを、これからの世界との関わりに生かしていこうとする。</li> </ul>

I 6年の総合で取り組んでいきたいことは何だろう？（総合2時間）

- 6年生の総合を通して、どのような課題を深めていけるか考える。
- 学習をいかして、取り組んでいけることを探る。

5年生では、SDGsについて調べたよ。でも、SDGsについてまだまだ知らないことがあるな。  
SDGsについて知るだけでなく、実際に行動できるようにしたい。SDGsをよく知らない人にも知ってもらって、みんなで世界を変えていけるようにしたい。



II SDGsのことを知ろう（総合10時間）

- SDGsについて学ぶ。
- SDGsの視点で世界の課題について調べる。

SDGsの17の目標は互いにつながっているね。  
まちには、ポイ捨てをする人もいるよ。公園の掃除をしても、また、ポイ捨てでゴミが落ちているんだ。まちを大切にするためにポイ捨てはだめだと伝えたい。まちのゴミは、川から海にたどりついて、海の生き物を苦しめるよ。海洋プラスチックゴミも大きな問題だね。差別の問題も伝えたい。問題の解決のためには、差別をなくして協力しなくちゃいけないよ。

III 映像制作をやってみよう（総合5時間）

- 委員会を紹介する動画をつくる。
- 委員会ごとに撮影する内容を決め、撮影する。
- 動画編集ソフトを活用して編集をする。

動画を作るには、何を伝えたいか決めておく必要があるな。  
動画編集ソフトを使うと、撮った映像にあとからナレーションをつけたり、テロップを入れたりすることもできるよ。画面の切り替えや効果音、BGMを工夫することもできるね。



IV SDGsを伝える動画を作ろう（総合20時間）

- 調べた情報をもとに、伝える相手、伝えたい内容を絞り込み、動画の台本を作る。
- 伝えたい内容を表現するための方法（撮影場所、撮影方法）を工夫して撮影を行う。
- 撮影した映像を編集ソフトで編集する。

これからの世界を変えていくには、だれをターゲットにして動画をつくといいだろう。  
問題が悪化した未来と解決して良くなった未来を比較して、今行動することの大切さを伝えるのはどうかな。ポイ捨てをしている様子を写して、それが海のゴミ問題にまでつながる様子を撮ってみたい。差別の問題を伝えたい。そのためには偏見をなくしていくことを伝えたいんだけど、どんな映像にしたらいいのかな。  
動画の撮影場所はどこにしようか。まちの美しさが伝わる場所はどこかな。ポイ捨てがまちを汚くして、世界にもつながっていることが伝わるには、学区の川でも撮影するといいんじゃないかな。  
動画を見た人が自分の行動を変えるには、どんな組み立てにするといいんだろう。動画の順番によって、感じ方が変わってくるね。



V 動画を視聴してもらおう（総合10時間）

- 自分たちで作った動画を視聴してもらおう。
- 自分たちの頑張りや人の温かさに気付く。

作った動画を見てもらって、SDGsについて知って行動を変えてもらいたいな。  
映像制作のプロの協力も得たから、動画を完成させることができたね。感謝の気持ちを忘れずにいたい。苦手なところもあって難しかったけれど、みんなで協力して完成したのが嬉しかった。お互いにアドバイスを合せて成長することができた。緑園のまちのよさやものづくりをする人の思いが伝わってきた。これからはみんなが助け合うまち、そして世界になっていけばいいな。地球の一員として、自分にできることを続けたいな。

### 3 小単元構想

#### IV SDGsを伝える動画を作ろう（総合20時間）

##### (1) 小単元目標

SDGsについての動画を作って人々に働きかけたいという願いを達成するために、SDGsについて伝える映像を制作することを通して、映像制作についての理解を深め、情報活用能力を高めるとともに協働して活動する態度を育む。

##### (2) 小単元で育てたい資質・能力

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題をもつ		・映像で伝えたい相手は誰か、伝えたい内容は何かを考える。 ＜対話、課題の把握＞	
追究する	・映像の元となる台本の役割を知る。＜知識＞ ・タブレット端末を活用して情報を収集したり、編集したりする。 ＜技能＞	・伝えたい情報を整理することで、必要な情報について分析し、台本の形にまとめる。 ＜情報の収集、整理・分析＞ ・台本をもとに、映像制作の材料となる資料や映像を集める。 ＜情報の収集＞ ・集めた映像を目的に応じて編集する。 ＜情報の整理・分析＞	・行動を変えることにつながる動画を作るために調査をしようとする思いを持つ。 ＜思い・願い＞
振り返る	・緑園のまちの景観の特徴や課題に気付く。 ＜気付き＞	・制作した映像を見直し、改善点を出し合う。 ＜対話、課題の把握＞	

##### (3) 小単元学習活動の流れ

学習課題	学習活動	期待する変容	○手立て ●関連する教科等
映像の台本を作ろう？	5時間		
	伝える相手、内容を話し合い、映像のための台本を作る。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの世界を作っていく子どもを対象にしたい。</li> <li>・同じ小学生なら、どんな映像がいいか自分たちの経験をもとに、考えられそうだな。</li> <li>・伝えたい内容はたくさんあるよ。</li> <li>・環境の問題は伝えていきたい。私たちが生きていく上で、まちや環境の問題はなくてはならないよ。</li> <li>・とくにポイ捨ては身近な問題だから伝えてなくしていきたいな。</li> <li>・映像のための台本は、どうやって作ったらいいのかな。</li> <li>・実際の動画を見て、映像のつなげ方を調べたいな。</li> <li>・映像制作をしているプロに話を聞いて、どんなふうに映像を作っているか知りたい。</li> <li>・どんな場面にするかイメージすることがだいじだよ。伝える順番も考えていこう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一台端末に学習の履歴を残し、これまでの活動を振り返ることができるようにする。</li> <li>○作成する動画についてのイメージを明らかにするために、動画編集の学習にも並行して取り組む。</li> <li>○目的に合った動画になるようにコンセプトを確認しながら、話し合いを進める。</li> <li>○映像制作のプロから話を伺うことで、活動についてのイメージをもち、方向性や手順を明確にする。</li> </ul>	

撮影をしよう。

10時間

台本をもとに撮影を行う。

- ・ボイ捨てが多いところはどこかな。実際に調べて、撮影場所を決めよう。
- ・守っていききたいまちの美しさも伝えたいな。街並みのきれいさを伝えるには、どこをどんな角度で撮るといいのかな。
- ・撮影する時には、4年で学習した「アップとルーズ」の考え方も活用できるね。
- ・人の会話をうまく撮るにはどうしたらいいのかな。話している人の顔を撮るとだれの台詞か分かりやすいね。
- ・カメラ視線だと不自然に見えることがあるよ。
- ・説明ばかりだと、見ていて飽きそうだな。大事なことは伝えながら、楽しんでもらうにはどんな映像にしたらいいんだろう。
- ・タブレットでの撮影だと、周りの雑音が入って聞き取りにくいな。プロはどうしているのかな。
- ・編集ソフトを使うと、あとから音声をいれることもできるよ。聞き取りにくいところは、音だけ別につける方法もあるね。

映像の編集をしよう。

5時間

台本に合わせて編集をしよう。

10時間

- ・撮影した映像を台本に合わせてつなげていこう。
- ・順番を変えると、感じ方が変わるよ。計画通りがいいか、順番を変えた方がいいか、見比べて考えてみよう。
- ・つなげるだけだと、間延びしてしまうな。必要ない場面は切り取って、分かりやすくしよう。
- ・音楽をつけると、楽しい感じや怖い感じが表現できるよ。
- ・テロップを入れると、より分かりやすいね。
- ・画面の変化も工夫しよう。
- ・音楽や、テロップを入れすぎると、逆に見づらくなってしまったよ。ちょうどいい分量にしよう。
- ・編集のしかたによって、同じ映像でも伝わり方が変わるね。普段見ているテレビやネットでも、伝える人の思いに合わせて情報が加工されているんだね。

○一人一台端末を活用して、撮影を行う。

●「地球規模の課題の解決と国際協力」  
(社会)

地球規模で発生している課題と日本が国際社会の一員として行っている協力・援助を関連づけたり、総合したりして、国際社会において日本が果たしている役割を考えたり、学習したことをもとに社会への関わり方る選択・判断したりして、適切な表現をする。

○資料などで調べるだけではなく、実際に自分たちのまちを歩いたり、調べたりして活動を見直す機会を設ける。

○一人一台端末を活用して、編集を行う。

●「メディアと人間社会」(国語)

メディアの特徴と作り方を知り、筆者の思いによって表現の仕方が異なることをふまえてメディアと付き合う学習をいかして、制作活動へとつなげる。

# 景観教育 実施報告書

学校名	緑園四小学校	校長名	鈴木 亘世
実施学年・学級	第 6 学年 2 組	児童生徒数	34 名
担当教諭名	平眞由美		
連携する外部機関	協賛名 JC, Studios 代表：コン子 ジェイソン様 山崎達聖事務所：山崎達聖様		

単元名	SDGs 動画プロジェクト
単元目標	「世界をよりよく変えていきたい」という思いの実現に向けて、映像制作の仕事に関わる方に教わりながら SDGs について広める動画を作る活動を通して、街の景観の美しさや世界には人々が関わり合い、工夫しながら暮らしているということに気づき、自分の思いを人に伝えるためによりよい表現の仕方を工夫する力を高めるとともに一つのものを作るために知恵を出し合い協力する姿勢を育てる。
関連する教科等	国語 メディアと人間社会 社会 世界の中の日本 地球規模の課題の解決と国際協力

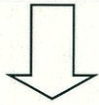
本単元で身に付けさせたい資質・能力	
チャレンジ精神	○映像制作に携わる方々から自分たちの作った動画に対して意見をいただき、思いが伝わる動画になるよう、何度も編集や修正をしようとする。
実行力	○資料収集をして SDGs や映像制作について多面的に調べることで、自分たちの街の課題をとらえ、その課題に対する行動を伝えることのできる動画を作成する。
創造性	○動画について分析し、自分たちの思いや願いに沿った動画はどのようなものなのかを明確にし、世界に働きかける方法を考える。
協働性	○連携企業の方、学級の仲間との対話に進んで取り組み、他者の意見を取り入れて自分の考えを形成しようとする。
リーダーシップ	○学級の仲間や企業との連携を取り、想いや願いの実現に組織的に取り組んでいく。 ○SDGs を調べることを通して、自分たちも社会の一員であることを自覚し、社会のために行動する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学習活動				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>I 6年の総合で取り組んでいきたいことは何だろうか？</p> <p>○6年生の総合を通して、どのような課題を深めていけるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習をいかして、取り組んでいけることを探る。</li> </ul> </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>II SDGsのことを知ろう</p> <p>○SDGsについて学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの視点で世界の課題について調べる。</li> </ul> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>IV SDGsを伝える動画を作ろう</p> <p>○得た情報をもとに、動画を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台本を作成する。</li> <li>・台本をもとにカット割りを考える。</li> <li>・街の中での撮影場所、撮影方法を考える。</li> <li>・実際に撮影する。</li> <li>・互いの作った動画を視聴し合い、よりよい動画になるように工夫する。</li> </ul> </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>V 動画を視聴してもらおう</p> <p>○自分たちで作った動画を視聴してもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの頑張りや人の温かさに気付く。</li> </ul> </div>	
外部機関等の連携								<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【JC, Studios 担当者様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月25日 第一回授業支援 撮影機材や撮影の手順についてお話を伺った。</li> </ul> </div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【JC, Studios 担当者様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月11日 作品発表</li> </ul> </div>

# 未来をつくる SDGs みんなを笑顔にする力 緑園西小学校6年2組

## SDGsについて調べよう

- SDGsの一つ一つの目標について、詳しく学びました。
- 「未来をつくる SDGs みんなを笑顔にする力」をテーマに SDGs について発信していくことにしました。
- より工夫して伝えるために、動画の形にまとめることにしました。



## 映像制作について知ろう

- 映画監督の山崎達壘様に映像表現をレベルアップさせるための技として、カット割や台本について教えていただきました。
- ジェイソン・コンデ様には、撮影機器や製作の流れについて教えていただきました。



## SDGsについて伝える動画を製作しよう

- 伝えたい内容ごとにグループに分かれ、撮影・編集を行い、動画制作を進めました。
- 公園など町の中で撮影することで、自分たちの町の景観や人への気づきもありました。



山崎達壘事務所  
山崎達壘さん

### ○連携したメリット

子どもたちがホンモノ（プロの仕事）を知りたがっていることがよく分かりました。GIGA スクール世代はiPadを使いこなし、撮影も編集も軽やかにやってのけます。ですから、「動画」をツールにして、コミュニケーションや表現力、思考力を磨くための「映像表現」の探究にスッと入れることに気づかされました。また、担当の先生と打ち合わせを重ね、一緒に授業をする中で、どうしたら子どもたちに伝わりやすいか、そのコツを知ることができました。

### ○子どもたちへのメッセージ

みなさんがふだん目にする、YouTube 動画をはじめ映画やドラマがどのように作られているのかが少しだけ分かったと思います。ひょっとしたらそれらの見方が変わったかもしれません。世の中にあふれている動画や映像作品は、そのまま流されているのではなく、「考え」をもって撮影や編集がされていることが分かりましたよね？ ぜひそういう視点を大切にしてください。どんなときも最適な判断ができるはずですよ。



株式会社 JC Studios  
ジェイソン コンデさん

2021 年は非常に厳しい年でした。新型コロナウイルスが進行中であるため、旅行や外出を控中小企業や飲食店も閉じて、皆大変なことになりました。今の時代の「NEW NORMAL」と「動画制作」に合わせた素晴らしい機会となったでしょう。最初、6年生の児童の皆は映像制作の経験はあったと思いますが、プロで使用する機器はどんなものがあるかまだわかりませんでした。企画から撮影と編集まで、どんどん興味とテンションが上がっていました。短い時間でしたが、我々の仕事について学ぶ手助けができたことを願っています。ぜひ、これからも色々なことにチャレンジし、頑張っていてほしいです！

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>SDGsを切り口に、街の景観についての意識が高まることをねらった。</p> <p>また、街、地域、地球を守っていくための映像作成をして発信していく活動にした。</p> <p>ポイ捨てを減らすことなど、街を守る視点からも身の回りの課題に対して意識することができた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>コロナ禍のため、街に出て活動することや交流をすることは難しかった。</p> <p>しかし、公園での景観を観察する活動を通して、街に落ちているごみの問題の根深さに気づいた。そのことが、身近な自分たちの生活にも目を向けて、街を守る活動をしていこうという意欲につながった。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>緑が多く、美しい自分たちの街を誇る気持ちは多くの児童が持っている。</p> <p>今回の活動で、SDGsの視点から街や自分たちの生活を見直したことで、ポイ捨ての問題やそこから引き起こされる環境問題の解決に向けてさらに一歩踏み出そうとしていた。</p> <p>公園などを舞台に動画を撮影したことで、街の一員として街の景観を守っていこう、みんなと協力して引き継いでいこうという思いが高まっていた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>街並みを生かして動画制作をすることで、児童は自然と街並みの美しさなどに目を向けていた。ポイ捨てのごみの問題など、景観を街の一員として守っていこうという気持ちがさらに高まっていることを感じた。景観教育で「心」を育てて、行動に結びつくような教育をさらに行っていきたい。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]</p> <p>今回、児童は身近な課題から、SDGsに着目して取り組みを進め、その中で街を守る意識を高めていた。今後は、今回の学習をいかして「11 住み続けられるまちづくりを」の内容をさらに深めていく活動に取り組んでいきたい。</p>